

山田分屯基地創立50周年記念 北部航空音楽隊演奏会



航空自衛隊山田分屯基地では、創立50周年記念として北部航空音楽隊による演奏会を開催します。入場無料ですので、多数ご来場ください。

と き 7月14日(土)
午後5時開演(午後4時半開場)
とこ 町中央公民館大ホール

山田分屯基地を一般開放

- ▷日時 7月14日(土) 午前9時~正午
- ▷場所 航空自衛隊山田分屯基地
- ※町総合運動公園から送迎バスを運行します。基地行きの最終は同運動公園を午前11時に出発します。
- ▷内容 模擬戦闘展示、装備品の展示など
- ◆問い合わせ 航空自衛隊山田分屯基地(☎82-2636)へ。

イラスト



みんなの スペース



すずきはるかちゃん
(さくら幼稚園・5歳)

わたしのゆめ

大きくなったらケーキ屋さんになりたいな。みんなに美味しいケーキを作ってあげたいから。

古里への便り②



ふる里山田同郷の会幹事
埼玉県越谷市
橋浦源右衛門さん(60歳)
(織笠出身)

山田町の皆さま、こんにちは。古里山田を離れて早や42年になります。昨年の同郷の会総会後から新幹事としてお世話になっております。副会長(会計兼任)の佐藤満君と山田高校同級生として、部活動の仲間として、そしてYS22年会(山田出身の昭和22年生まれでつくる会)のメンバーとしても縁があり幹事へのお誘いを受けました。微力ながら山田町のためお手伝いしていきたいと思っております。今後ともよろしく願います。

上京してから42年、間、埼玉、群馬、長野、千葉(単身)と仕事の都合であちこち転居をしました。海なし県での生活が長く、きれいな山田湾が懐かしくなります。そのきれいな海でとれた新鮮なワカメ、ホタテなどの魚介類を時々送ってもらっています。暮れには生サケを送っていただき、新巻きにして窓際につるしていると、近所の子供たちが大きい魚に驚いていたこともありました。また、我が家でいただくハラッコはその時の新鮮なものだけですが、こちらでは高価なのでスーパーなどで買ってまで食べられないからです。今では山田町に帰るのは冠婚

東京で「ふる里会」を開催

兄弟や知人に 連絡してね

「ふる里山田同郷の会」が東京で開かれます。同会は、東京近郊に暮らす方々に、古里山田を思い出して交流を深めてもらおうと開催されているもので、今回で22回目を数えます。当日は町の近況報告や郷土の懐かしい物産品の販売のほか、特産品が当たるくじ引きを用意しています。

町にゆかりのある人であればどなたでも参加できますので、皆さんの兄弟や知人などに連絡してあげてください。

◆日時 7月8日(日)
午後1時~3時

◆場所 中野サンプラザ
14階(東京都中野区中野4-1-1)

◆参加方法 参加を希望する人は直接会場へお越しください。

◆会費 6,000円(年会費を含みます)

◆問い合わせ 役場産業振興課商工観光担当(☎82-3111内線233)へ。

投書

どんなことでも結構です。どしどしお寄せください。

親子で楽しんだ保育参観

6月16日、わかき保育園の保育参観がありました。今回は育児講座と一緒に、講師に木村純子先生を招いて、わらべ歌でのスキンシップ、楽器を使つての合奏、「海」遊びと、親子で体を使つて楽しみました。講演の中で、「忙しいせいか、親子がお互いの目を見て話をしなくなった」と聞き、ハッとするものがありました。確かに子

供と話してはいますが、家事をしながらだったり、テレビを見ながらだったり、常に〇〇しながらです。忙しいときは返事も「ウンウン、ハイハイ」で終わり。朝から「早く着替えて、ご飯を食べて、準備して」とせかして命令するだけです。ちゃんとしてきて当たり前で褒めることもありません。しかるだけでなく、もつともつと褒めて認めてあげなくてはと思いました。町内の純子先生ファンには申し訳ありませんが、先生とハグしてパワーをいただきました。子供と遊び、五目ご飯、海老しんじょう汁のおいしい給食もご馳走になり大満足の日でした。次もこのような企画をお願いします。

佐々木三津枝(田の浜・44歳)

最近始めたガーデニング

最近、ガーデニングに凝っています。今までまったく興味はなかったのですが、花を植えた「あの花と鉢を買って」などといういろいろ思案したり。花を見ているととても癒やされます。まとまらないけど、友達から花をもらったりあげたりと、少しずつ庭をきれいにしながら私の夢(庭造り)を描いています。

黒澤頼江(船越・?歳)

今でも心に残る田園風景

宵になるとカエルの合唱が始まり、しばし聞き入る。重ねて遠い日の田植えが始まるころのことを思い出す。水苗代なので畔には「なすばり小屋」(鳥追い小屋)が点在していた。女衆たちは手仕事を持ち鳥追い番に。衣食の足りない時代、家族の足袋から衣類の継ぎ物などに夢中になっていて、苗代に鳥が「それあー鳥あきたー」と、追った懐かしい思い出がある。

秋の収穫は定かではないが、今より作は悪かったと思う。時とともに流れ去った田園風景。今一枚の絵として心に残し、古里のぬくもりを味わいたい。

菊地サカエ(織笠・72歳)

父眠る遠き沖縄たずぬれば
摩文仁の丘に平和の礎

大川ヒメ子(大沢・63歳)

プロのミス

思わぬところで無駄な金

佐藤兼男(荒川・?歳)

冬も知らず徒咲く花を
見つめける

流れるままに我も生きなん

大町テイ子(大沢・?歳)

幼な日の牡丹の花の色どりが
見えぬ顔に今お残る

菊地孝進(船越・85歳)